

高校教育研究委員会 2019年度 第2回公開研究会

改訂学習指導要領を乗り越える主権者教育を！ ～すべての高校生の学び・成長を保障する高校教育を～



テーマ

高校教育「改革」と教育の市場化 にどう立ち向かうか

- 日時：7月6日（土）14：00～17：00
 - 会場：全国教育文化会館 全教共済1階会議室
 - 報告：植田健男さん（花園大学）
報告：小池由美子さん（大東文化大学）
- ※ 終了後、懇親会もありますので引き続きご参加ください。

高校教育研究委員会はこれまで改訂学習指導要領を乗り越える主権者教育のあり方を考え、実践交流、討論してきました。

国が求める「資質・能力」を押しつける「改訂学習指導要領」をはじめ、「高校生のための学びの基礎診断」や「大学入学共通テスト」・「英語認定試験」などの「高大接続改革」、学費減免や奨学金を「利用」して大学教育の自主性を奪い国による支配をねらう「大学等修学支援法」、一連の「改革」の総仕上げといえる「教育再生実行会議第十一次提言」など、矢継ぎ早に政策・施策が出されています。次第に具体化がすすめられ、問題点が明らかになってきました。一連の「改革」は、文科省に代わって民間事業者が推進役になっているように見えます。教育の市場がいつそうすすみ、民間教育産業が公教育を「商売」として“いいとこ取り”しようと画策しています。公教育としての高校教育のあり方を考え、すべての高校生の学び・成長を保障する高校教育の実現がきわめて重要なとりくみとなっています。ともに、じっくり討論しましょう。

問い合わせは 全日本教職員組合(全教)まで

TEL 03(5211)0123 E-mail: zenkyo@educas.jp